

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
北海道障がい者就労支援センター

就労支援業務事業評価書

(平成24年4月1日～平成26年3月31日)

平成26年8月

指定法人事業評価委員会

■ 評価の基本的な考え方

指定法人事業評価委員会は、北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例（平成21年北海道条例第50号）第31条第8項の規定に基づき、社会福祉法人 北海道社会福祉協議会（北海道障がい者就労支援センター）の平成24年度から25年度における障がい者就労支援業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、北海道が示した、指定法人要求水準書に定めた事業ごとに、その実績を記載した就労支援業務事業報告書及び法人からの聴取を基に評価委員の全体協議により「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

指定法人要求水準書に掲げる事業ごとに、平成24年度及び25年度の事業計画の達成状況について、4段階により評価する。

A: 計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。

B: 計画に基づき適正に実施されている。

C: 計画に対し、やや不十分な内容である。

D: 計画に基づき実施されておらず、重大な改善事項がある。

※C及びD評価の場合は、指摘及び改善事項等について、意見を付すものとする。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえて、平成22年度における事業実績の全体について、上記により4段階評価する。

■ 指定法人事業評価委員会委員

分野	所属・役職	氏名	備考
学識者	北翔大学生涯スポーツ学部 教授	梶 晴 美	委員長
保健福祉関係者	くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援 センター センター長	高 谷 さふみ	委員
企業関係者	株式会社 ほくでんアソシエ 代表取締役社長	岡 村 一 郎	委員

■ 指定法人事業評価委員会開催

開催日時 平成26年8月6日(水) 14:00～16:30

開催場所 道庁6階 保健福祉部1号会議室

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
全 体 評 価			
<p>授産事業所における収益力の向上等を図るため、第2期北海道働く障がい者応援プラン第Ⅱ章(以下「応援プラン」という。)に基づき、授産事業の経営力向上や受注拡大に向けた支援の取組を行う。</p>	<p>授産事業所のニーズを踏まえるとともに関係機関との連携を図りながら、授産事業所の経営力向上や受注拡大等に向けた取組を実施した。</p>	B	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p>
I 工賃向上計画の策定・推進事業			
<p>応援プランに基づく「工賃向上計画」策定事業所等に対し、専門家等を派遣し、経営相談・技術指導等を実施。</p> <p>■ 個別経営相談 経営の専門家である中小企業診断士による「工賃向上計画」に関する個別経営相談を実施することにより、授産事業所における計画の適切な推進とそれによる工賃の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所に配慮した実施方法(地域・時期等) ★ 経営等に関し十分な知識を有するコンサルタントの選任</p>	<p>1 個別経営相談会(派遣相談)の実施</p> <p>＜個別経営相談＞ [24年度のみ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施 8会場 (5月～8月) * 平成25年度は以下②の派遣相談のみ実施 ・内容 「工賃向上計画」策定の推進、計画達成のための経営改善等の指導 ・相談件数 58施設 58件 (23年度 6施設 6件) <p>＜個別経営相談(派遣)＞ [24年度・25年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施 24年度: 4施設 4件(8月～11月) 25年度: 8施設 16件(11月～3月) * 平成25年度は1カ所につき2回派遣。 ・内容 コンサルタント等による指導・助言 <p>【別添資料1のとおり】</p> <p>2 経営コンサルタントの確保 工賃倍増集中対策事業で活動実績のある中小企業診断士(4名)の他、民間企業役員(1名)を選任した。</p>	B	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p> <p>実施方法の変更など工夫は見られるが、相談件数の面では必ずしも結果に結びついておらず、今後更なる工夫を期待する。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ 経営・技術指導 企業経営に関する基礎知識や製造技術等の専門技術等に関する講習等の実施により、授産事業所における企業経営的ノウハウの導入及び職員の資質の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所のニーズを踏まえた内容設定 ★ 企業経営的ノウハウの導入、職員の資質向上(営業力向上等)に向けた効果的な取組</p>	<p>1 授産施設・作業所経営セミナーの実施 [24年度・25年度] <24年度> ① と き:平成24年11月30日 ② と ころ:札幌市 かでる2・7 ③ 参加数: 46 名 ④ 内容 ・ 講義:「地域との共生で企業が伸びる～就労継続支援事業所、高齢者施設と連携したレストラン経営」 講師:土井 善子 ((有)思風都 代表取締役会長) ・ シンポジウム テーマ「制度施策の垣根を越えた連携を求めて」 コーディネーター:大泉 浩一 (道社協マッチング事業コーディネーター) 助言者:土井 善子 シンポジスト: 亀海 聡(NPO法人 フレンズ理事長) 野口 富弘(NPO法人 とむての森 事務局次長) 佐々木 恵一(中小企業診断士) <25年度> ① と き:平成26年 3月13日 ② と ころ:札幌市 北海道自治労会館 ③ 参加数: 76 名 ④ 内容 ・ 中央情勢報告 報告者:全国社会就労センター協議会 会長 阿由葉 寛 ・ 講義:「経済的自立を実現する仕事づくりへの視点と事業戦略」 講師:手島 大輔 (株式会社トライフ 代表取締役 中小企業診断士) ・ 講義:「暮らすを支えるということについて～ 「人が生きること」「人が暮らすこと」をGHを通して考える～」 ・ 講師 統括管理者 奥西 利江 (社副 維雅幸育会 ひまわりデイセンターふっくりあ)</p> <p>2 障がい者の就労支援・製品制作技術研修会 [24年度・25年度] 商品デザインや新たな商品作りのための技術、商品販売に必要な商品開発力、プレゼン力等を実践的に学んだ。 <24年度> ① と き:平成25年2月27日 ② と ころ:札幌市 かでる2・7 ③ 参加数: コース1 14 名 コース2 20名 ④ 内容 コース1 講義・演習:「営業に必要なプレゼンテーション技術向上」</p>	<p>A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>セミナー等のテーマや講師の選定などにおいて工夫がみられ、授産事業の今後の発展が期待される取組として高く評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
	<p>講師 小山田 剛 (札幌PHP 有限会社 朝日田コーポレーション アカデミー事業部長)</p> <p>コース2 ・ 講義・演習:「スイーツ商品力向上のコツを学ぶ」 講師 佐々木 芳雄 (プリン専門店アンデリス オーナーシェフ) <25年度> ① と き:平成25年10月31日 ② と ころ:札幌市 自治労会館 ③ 内 容</p> <p>コース1 講義・演習:「営業に必要なプレゼンテーション技術向上 講座」 講師 小山田 剛 (札幌PHP有限会社朝日田コーポレーション アカデミー事業部長)</p> <p>コース2 講義・演習「地元食材と強みを活かす!売れる商品開発のコツと実践」 講師 引地 学(北海道フードエンタープライズ代表取締役)</p> <p>コース3 講義・演習「魅力的なお店作り実践講座」 講師 北島 充 (中小企業診断士・建築士)</p> <p>3 授産商品魅力向上のための相談会[24年度・25年度] ・ 個別経営相談の相談メニューの主眼である工賃向上計画向上のノウハウと併せて、左記の主旨も入れ込んで対応した。</p>		

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ 授産事業所に関するアイデア募集 授産事業所職員や一般道民などから、授産事業に関するアイデアを募集し、その内容について実現の可能性等を検討するなどして、事業の改善や新たな取り組みにつなげる。</p> <p>【要求水準】</p> <p>★ 寄せられたアイデアは、客観的に分析・検討を行い、実現性のある取組について、有効かつ効果的に活用される内容である。</p>	<p>[24年度・25年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マatchingコーディネート業務、スタッフ業務の中で、企業や関係者等からアイデアや提案を聴取。 	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p> <p>新たな取組を始めた点は評価できる。今後は、公募方法等より工夫して実施されるよう期待する。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
II 授産事業所間の連携・共同化			
<p>■ 授産事業所間連携・共同化 授産事業所間による事業の連携・共同化の促進を図るとともに、連携・共同化に向けたアドバイス等を行う。</p> <p>【要求水準】 ★ 十分な知識を有するアドバイザーの選任 ★ 授産事業所のニーズを踏まえた実施内容</p>	<p>[24年度・25年度]</p> <p>1 実態の把握</p> <p>① 販路開拓事業地域スタッフによる訪問・聴き取り調査等により授産事業所等の事業内容・商品等について、実態の把握を行った。</p> <p>② 把握した実態をもとにマッチング事業コーディネーター(中小企業診断士)によるアドバイス等助言及び支援共同化の可能性のある授産事業所について検討を行った。</p> <p>※ <前回評価委員会を踏まえた実績>[24年度・25年度]</p> <p>2 木工品等授産事業所間共同連携学習会の実施 木工品制作に従事する事業所が集まる道北圏エリアをターゲットに複数の事業所が企画立案からサンプル品の作成、営業にいたるプロセスを体得できる学習プロジェクトを開催し<24年度></p> <p>① と き:平成24年10月16日 プレ研修会 平成24年12月17日 第1回 平成25年 2月 6日 第2回 平成25年 3月22日 第3回</p> <p>② ところ:旭川市 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場 プレ研修会 旭川市 旭川市勤労者福祉会館 第1回 旭川市 旭川市市民活動センター 第2回 旭川市 旭川市市民活動センター 第3回</p> <p>③ 参加者数:12名 プレ研修会 11名 第1回 10名 第2回 10名 第3回</p> <p>④ 内容: プロジェクト立ち上げ前に、プレ研修会として優先調達推進法施行を踏まえて、自治体向け木工製品の企画立案から共同制作を行うプロジェクト実施の趣旨を確認し、自由にアイデアを出したのち、3回にわたりプロジェクト学習会を実施した。学習会を通して、専門家からの助言を受けながら協議を重ね2つのグループで自治体向け商品企画の案がまとまった。また、第3回目の学習会では、共同制作したサンプル品を用いて、自治体関係者を招き企画についてのプレゼンを実施した。</p>	A	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>事業所のニーズを踏まえ、連携・共同化から具体的な商品につながっており、高く評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
	<p>⑤ 成果： 具体的な企画案作成を達成し、参画した事業所間の共同制作に向けた意識を醸成した。</p> <p><25年度></p> <p>① とき：平成25年10月30日 第1回 平成25年12月20日 第2回 平成26年 3月20日 第3回</p> <p>② ところ：旭川市 旭川市障害者福祉センター</p> <p>③ 参加者数：11名 第1回 9名 第2回 8名 第3回</p> <p>④ 内容： 平成24年度の状況をふまえて実際に自治体に売り込むための広報ツール(チラシデザイン)のサンプル作成に向けた学習会を実施。 また、「営業」に向けた留意点についても実績のある施設関係者からの助言をもらった。</p> <p>⑤ 成果： 平成24年度の企画案をもとに、営業に向けたチラシ作成等を行い、具体的な複数の事業所が制作する場合のコスト計算作業分担まで協議が行うことが出来た。 【サンプル品等の資料別紙のとおり】</p> <p>3 道南授産事業所間共同連携普及事業学習会の実施 渡島管内の事業所がファンシー商品を共同制作する学習会</p>		

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
Ⅲ 市場調査・商品開発事業			
<p>魅力ある製品づくりと質の高いサービスの提供を行うため、市場調査及び商品開発に関する取組を実施</p> <p>■ ニーズ調査及び商品評価 企業等のニーズ把握と商品評価により、授産事業所の商品力の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所の意向等を踏まえるとともに、効率的かつ効果的な取組であり、成果品（データ）の有効活用が図られること</p>	<p>[24年度 25年度] ・ 専門家(商業デザイナー、フードコーディネーター等)からの具体的な指導・助言等を行い、市場ニーズを踏まえた商品開発を行っている。</p> <p>① 実施内容 ・ 専門家(商業デザイナー、フードコーディネーター等)による商品評価 ・ 専門家派遣による商品の付加価値を高める技術指導、商品の改良・開発の助言</p> <p>② 対象商品 ・ 授産事業所で制作されている又は制作予定の加工食品等</p> <p>③ 対象施設・商品 7施設(申込数:9施設) 平成24年度 4施設(申込数:4施設) 平成25年度 <24年度> ・ NPO法人 生活相談サポートセンターホープ (札幌市) 商品改良:犬用チーズおからクッキー ・ NPO法人多機能型社会福祉事業所ふきのとう (札幌市) 商品改良:ロッシュ(焼き菓子) ・ 社会福祉法人 札幌ひかり会 ひかり工房 (札幌市) 商品開発:札幌黄オニオンスープロール ・ 社会福祉法人 慧誠会 帯広ケアセンター (帯広市) 商品改良:ごぼう茶 ・ 社会福祉法人てつなぎ すまいるB (弟子屈町) 商品改良:犬のおやつ ・ NPO法人 さらら壮警 (壮警町) 商品改良:プルーンピューレ ・ NPO法人倶知安町手をつなぐ親の会 ワークステーション輝 (倶知安町) 商品改良:男爵ようかん <25年度> ・ 社会福祉法人 七飯福祉会 ぼぼろ館 (七飯町) 商品改良:乾燥リンゴ ・ 社会福祉法人 札幌三和福祉会 ワークショップサンワ (札幌市) ・ 社会福祉法人タンポポのはら ギャラリーヴィン (石狩市) ・ 社会福祉法人 新篠津福祉会 手作り工房パン家(新篠津村) 上記3事業所による商品共同開発:スイートポテトあんぱん</p>	A	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>参加した施設や地域から高い評価を受け、事業所の商品力の向上という具体的な成果が出ており、高く評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ 商品開発に関する研修 企業担当者等による商品開発に関する実践的研修により、授産事業所の商品力の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所ニーズを踏まえたテーマ等の設定 ★ 十分な知識を有する者を講師に選任</p>	<p>[24年度 25年度]</p> <p>1 市場から学ぶ商品開発研修 2 企業から学ぶ就労支援研修 福祉的就労から一般就労への道しるべを示すため、障がい者雇用における就労に至るまでの準備、支援、フォロー体制について学ぶ。 平成24年度は、上記1、2の趣旨を包含するようなテーマ設定にした集合研修を実施した。</p> <p>① 研修名:「共生社会を支える就労支援セミナー～農業と障がい者就労の企業的連携を考える」 ② と き:平成25年3月19日(火) ③ ところ:札幌市 第二水産ビル ④ 参加数: 50名 ⑤ 内容 講義:「農業と障がい者就労の企業的連携を考える」 講師:濱田 健司 (農協共済総合研究所 調査研究部 主任研究員) ワークショップ コーディネーター:杉岡 直人 (北星学園大学 社会福祉学部 教授) コメンテーター:濱田 健司 シンポジスト:亀海 聡(NPO法人 フレンズ理事長) 大代 貴貴(社福 黒松内つくし園 倶知安 統括施設長) 大原 祐介(NPO法人 ゆうゆう 理事長) 斉藤 懸三(NPO法人 わっぱの会理事長)</p> <p>* 25年度は既述の「授産施設・作業所経営セミナー」の内容に上記1、2の趣旨を包含した講義を実施した。 <再掲></p> <p>① と き:平成26年 3月13日 ② ところ:札幌市 北海道自治労会館 ③ 参加数: 76 名 ④ 内容 ・ 中央情勢報告 報告者:全国社会就労センター協議会 会長 阿由葉 寛 ・ 講義:「経済的自立を実現する仕事づくりへの視点と事業戦略」 講師:手島 大輔 (株式会社トライフ 代表取締役 中小企業診断士) ・ 講義:「暮らすを支えるということについて～「人が生きること」「人が暮らすこと」をGHを通して考える～」 ・ 講師 統括管理者 奥西 利江 (社副 維雅幸育会 ひまわりデイセンター ふっくりあ)</p>	<p>A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。 研修テーマの設定や開催方法などに工夫が見られ、充実した内容となっており、高く評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
IV マッチングサポート事業			
<p>授産事業所の製品・サービスの受注拡大を図るため、授産事業所と企業等とのビジネスマッチングに関するサポートを行う。</p> <p>■ マッチング事業〔共同受注システム〕</p> <p>授産事業所の製品やサービスの販路の確保・拡大を図るため、企業等が発注する仕事と授産事業所のインターネット上のマッチングの場を設けるとともに、専門コーディネーターによる受発注のコーディネートを行うほか、複数事業所による企業の発注ニーズに対する作業量及び作業工程の分担受注等の調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同受注システムの運営 ・専門コーディネーターの配置 ・授産製品、サービスのPR ・事業の周知 <p>【要求水準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 経営、マーケティング等に関し、十分な知識等を有するコーディネーターの配置 ★ コーディネーター等による積極的な新規企業の開拓 ★ 利用者の利便性を考慮するとともに、アクセス数増が期待できる魅力あるホームページ（共同受注システム）の構築・運営 ★ 授産事業所の連携・共同化に向けた実現性ある取組 ★ 共同受注システムへの授産事業所の登録拡大に向けた効果的な取組 ★ マッチング事業及び授産事業所の製品・サービスの認知度向上が期待できる効果的かつ効率的な事業のPR方法 	<p>[24年度 25年度]</p> <p>1 ナイスハートネット北海道の運営</p> <p>① 登録状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報登録：765 施設 登録対象：970 施設(78.8%) (H25.3月末現在) ・基本情報登録：792施設 登録対象：970施設(81.6%) (H26.3月末現在) <p>② ホームページの改良</p> <p>③ 取組実績のホームページでの紹介</p> <p>[24年度 25年度]</p> <p>1 専門コーディネーターの配置及び活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング事業(H20.10～現在)コーディネーターで実績のある中小企業診断士(大泉浩一氏)を委嘱。 ・販路開拓事業地域スタッフの研修やコーディネーターの指導により全道域で成約 <p>2 活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授産事業所と企業とのマッチングコーディネート ・マッチングシステムの紹介(企業へ) ・受注に当たっての、授産事業所へのアドバイス ・製品開発・改良へのアドバイス、専門家の紹介 <p>3 マッチング実績</p> <p>平成24年度 商談成立150件 平成25年度 商談成立166件 【別添資料2のとおり】</p>	B	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p> <p>安定的に実績を上げており評価できる。全国ネット化など今後の更なる向上を期待する。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
	<p>[24年度 25年度]</p> <p>1 商品カタログの作成 今後拡大していくことが予想される農産物及び加工品商品を紹介する内容として作成し配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行:平成24年8月、4,500部 平成26年3月、3,000部 ・配布先 道庁・総合振興局(振興局)、市町村、市町村社協、事業所、関係団体、社会福祉施設等 <p>2 授産製品販売会によるPR</p> <p>① 展示販売: 催事延べ 27日(1,808千円)平成24年度 催事延べ 31日(1,262千円)平成25年度</p> <p>② 受注/カタログ販売:26団体・個人(582千円)平成24年度 26団体・個人(502千円)平成25年度</p> <p>③ 委託販売: 7催事延べ9日(201千円)平成24年度 7催事延べ9日(191千円)平成25年度</p> <p>④ 常設販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の店「元気の輪」(岡山県)通年(0千円) ・赤れんがストア(株)小六)H22年6月～H26年3月(907千円) ・クスリのツルハH23年8月～H26年3月(2,720千円) <p>⑤ 合計 2,591千円 平成24年度 ①～③分 合計 1,951千円 平成25年度 ①～③分</p> <p>3 パネル展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっかいどうナイスハートハザールinアリオ札幌(H24.10/9～11) ・ほっかいどうナイスハートハザールinアリオ札幌(H25.10/8～10) ・障がい者授産施設・共同作業所パネル展示会(H24.8/27～29) ・障がい者授産施設・共同作業所パネル展示会(H25.8/22～23) <p>4 授産製品販売支援</p> <p>① セイコーマートポイントカード交換用景品への紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品提案: 25事業所 37商品 採用:10事業所 10商品 平成24年度 ・新商品提案: 11事業所 31品 採用:6事業所 7商品 平成25年度 <p>② 赤れんが売店への商品提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用: 0事業所 0商品 平成24年度 ・採用: 5事業所 26商品 平成25年度 <p>1 マスコミ等への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新聞(H24 9/14) 「ナイスハートネット北海道紹介記事」 ・広報ほっかいどう(H25 3) 「ナイスハートネット北海道/マッチングコーディネーター紹介記事」 ・福祉関係者向け広報誌「明るい社会」(発行 道社協 年4回) ・広報誌「明るい社会」に授産製品紹介コーナー連載 		

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
	<p>(5月、8月、11月、3月)</p> <p>2 ナイスハートネット北海道紹介パンフレットの増刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行:平成24年8月 ・作成部数:3,000部 ・配布先 ・各事業所、関係団体、マッチング商談企業等 <p>3 自治体向けナイスハートネット活用啓発チラシの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行:平成25年8月 3,000部 ・配布先 道庁・総合振興局(振興局)、市町村等 <p>4 市町村向け優先調達推進法メールマガジン創刊号の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行時期 平成26年3月 		

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ 多様な販路の確保 授産事業所の製品やサービスの新たな販路の開拓等を図るため、経済団体や企業等が主催する商談会やイベント販売等への参加。 また、商談会における商品提案力等の向上を図るための研修会等を実施。</p> <p>【要求水準】 ★ バイヤー等の参加がより多く見込まれるもの ★ 出店授産事業所及び商品の選定方法は客観的で合理的な理由があること</p>	<p>[24年度 25年度]</p> <p>1 商談会等の実施(参加) 授産製品やサービスの新たな販路の開拓等を図るため、流通事業者やバイヤー等との商談を実施し、専門業者による商品評価及び一般商品として流通させるためのヒントを授産事業所にフィードバックした。</p> <p>① バイヤーズ食セレクション 平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主 催:新日本スーパーマーケット協会 ・ と き:平成24年11月29日 ・ と ころ:東京都 ・ 参加事業:4事業所 ・ 内容 主催元団体の専属バイヤー数名による審査会会場に商品を事前送付し、商品内容の評価を受け、結果を一旦本センターで受け、申込事業者へフィードバックした。 ・ 結果 平成23年度同様、申込事業者に対する全般的な評価結果は、お土産商品としては適しているが、一般商品として流通ルートに載せるには商品としての魅力が欠けるという趣旨が多かった。 * 平成25年度は、上記審査会を主催もとで開催しない状況から商談会の情報収集にとどめた。 	<p>C</p>	<p>※計画に対し、やや不十分な内容である。</p> <p>食品に限定した取組にとどまっており、それ以外の分野の製品や多様な販路の確保に向けた工夫や取組が必要。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
V 企業認証制度及びアクション普及・啓発事業			
<p>企業等による障がい者就労支援に対する理解と取組を促進するため、企業認証制度及びアクションの普及・啓発を行う。</p> <p>■ 企業認証制度及びアクション 障がい者就労支援企業認証制度及び北海道障がい者就労支援プログラム「アクション」の登録件数拡大に向け、登録申請受付及び審査並びに普及・啓発活動を行う。</p> <p>【要求水準】 ★ 申請受付・審査事務の適切・迅速な処理 ★ 認証・登録企業の公表内容・手段等が効果的であること ★ 平成26年度末までに認証企業数200件、アクション登録1,000件の目標達成に向けた効果的な制度のPR方法であること</p>	<p>[24年度・25年度]</p> <p>1 申請受付件数 〔アクション〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業サポーター：1件(24年度)、4件(25年度) ・ 市町村サポーター：0件(24年度)、0件(25年度) <p>2 普及・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレットを作成・配布 <p>【配布先】 市町村、市町村社協、関係団体、一般企業、授産事業所</p> <p>【配布方法】 障がい者就労支援センター事業全般にかかる業務において配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ(ナイスハートネット北海道、北海道就労支援推進センター)での紹介 	B	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p>